

MOBILE SPACE FRONTIER®

SANKYO FRONTIER
COMPANY PROFILE

フロンティアだから、
社会の課題に
挑んでいく。

Because
we are the FRONTIER, …

基本理念

目的(存在理由)

社会への貢献

私たちは、社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観(不变の主義)

開拓の精神 不断の努力 誠実な意志

私たちは、失敗を恐れず、
情熱を持って、
未開の地(新しい分野)に
挑戦することを誇りとします。

私たちは、弛みない努力によって、
困難に打ち勝ち、
目的の実現に至ることを
喜びとします。

私たちは、
私たちを支える人々^{*}に対し、
揺らぐことのない誠実な
意志によって行動します。

そのためにいま、取り組んでいること

10年ビジョン

2018.4 ⇢ 2028.3

地球上でもっとも進化した
モバイルスペースメーカーになり、
お客様の夢をモバイルすることにより
社会のハピネスに貢献する。

*「私たちを支える人々」とはステークホルダー(お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族)を指します。

フロンティアだから、 リユース率世界一の技術で、 建物の常識を超える。



建物は動かない。
その常識を、動かしてきた。

創業期、私たちの第1号製品となる「建設現場用浴槽コンテナバス」は、建設現場=3Kだから、人手が集まらなくて当然という、当時の常識を動かしました。以来、「モバイルスペース」の可能性を模索し、いまや空調、給排水、発電、浄化槽と、ビジネスに欠かせないあらゆる機能がモバイルできるようになりました。必要なときに、必要なだけ、必要な空間を提供することができる。街ごとモバイルすることも、砂漠の真ん中で、街の真ん中のような感覚で過ごすこともできる。そんな常識を超えた未来の姿が、私たちの技術の先に見えています。

不動産が、動産に。移設も姿かたちも自由自在。

折りたたんで、持ち運べる。モバイルスペースのゆえんたる「モバイル性」。つまり建物ごと移動できるという特性です。必要機能の増減も自由に組み合わせることができるので、そのビジネスの状況や商圈の変更にも即対応。ビジネスにこれまでなかったスピード感をもたらします。



建築の完全なる工業化を実現する技術力。



建築空間の本体に加え、設備、インフラまですべてを規格化し、自社工場で生産。完成品を現場に運んで組み立てることで、電気や給排水、空調、インフラまで含めた空間がまたたく間にできあがる。工期は一般的の在来工法に比べ約1/2。建築に関わるすべてを工業化させる技術力であらゆる建物の常識を超えていきます。

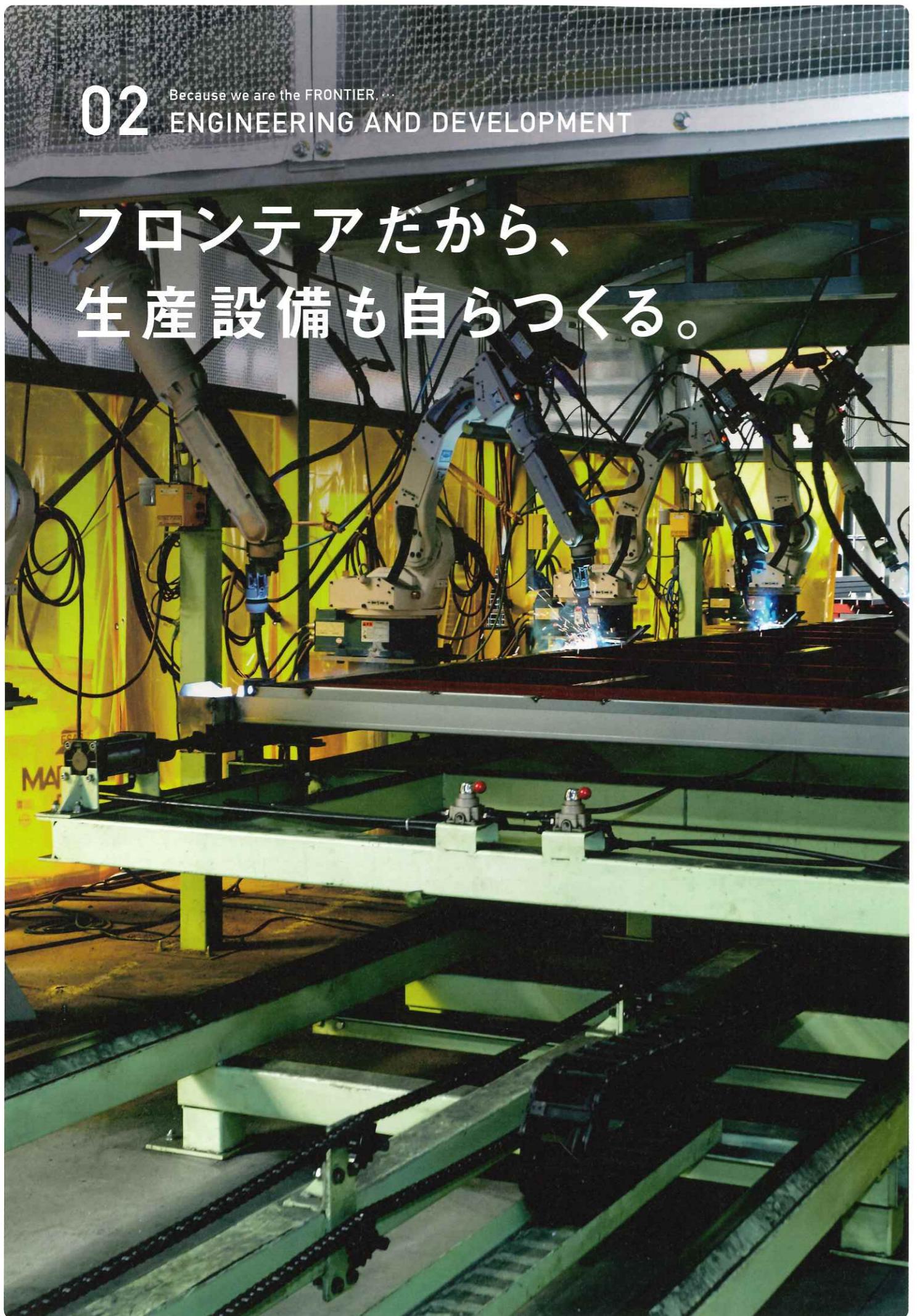
電線1本たりとも廃材にしない世の中に。

モバイルスペースは建築ではなくプロダクト。レンタル、販売、買取りを最適に循環させる「リユース」を前提とした仕様に設計されています。通常廃棄処分となる電線1本にいたるまで決して無駄にせず、くり返し使えるようにモジュール化。リユース率世界一の技術力で建設廃材のない社会の実現に貢献します。



02 Because we are the FRONTIER, ... ENGINEERING AND DEVELOPMENT

フロンティアだから、
生産設備も自らつくる。



オリジナル技術にこだわるから、
工場自体もオリジナル設計。

2013年、国内7番目の自社工場となる「つくば工場」が操業。

設計から施工管理、機械装置の設計、設備レイアウトにいたるすべてを、自社のエンジニアが手がけています。

三協フロンティアの製品はすべて、オンリーワンのオリジナルプロダクトです。

だからこそ、生産設備自体もオリジナル設計でなくては実現不可能なのです。

創業当時から貫かれている「自らつくり、自ら販売する」。

自社一貫の精神は、いまも色褪せることなく受け継がれています。

社員の3割がエンジニア。380名を超える電気工事士。

正社員のうち3割を超えるスタッフが技術職。加えて、電気工事資格保持者は技術職以外も含めて380名在籍。職域に関係なく、誰もが技術者精神を胸に秘めています。技術にこだわる“ものづくり企業”として、社会に必要とされるものを、すぐつくり、自信を持って提案できるのは、すべてをゼロベースで自らつくりあげたという、誇りと熱い思いを込めた、完全オリジナル自社製品だからです。



マーケットを一気通貫するエンジニア魂。

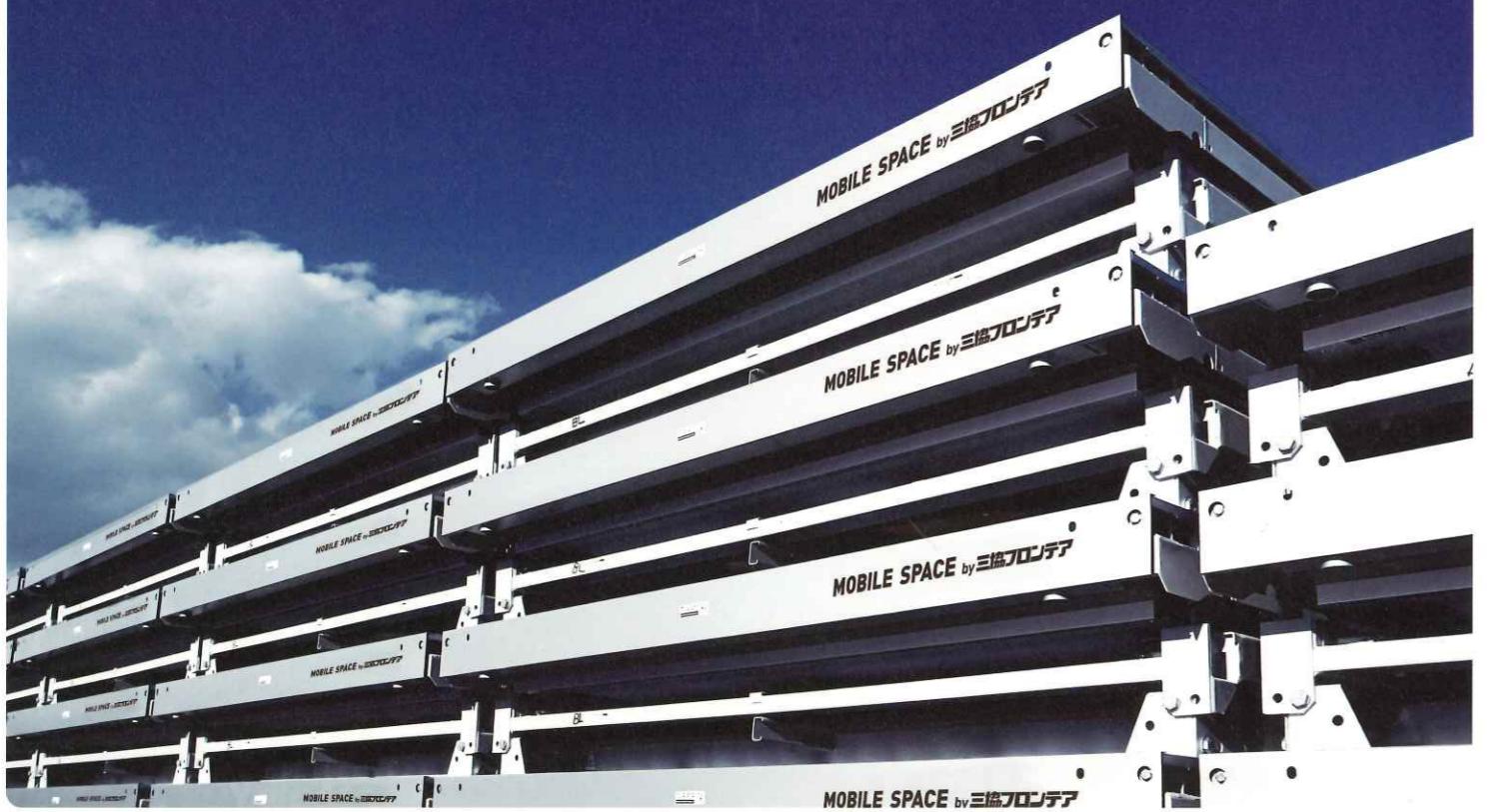
企画、開発、設計、生産、営業、物流、施工、そしてアフターサービス。製品がお客様のお手元に届くまでのすべての工程を、自社の専門エキスパートの手による自社一貫体制をとっています。結果、いまや常識となった、折りたたみ式モバイルスペースや、設備ユニットをカプセルに集約し簡単に脱着可能にしたオリジナル技術とプロダクトの数々。フロンティアたる私たちの根幹を支えているのは、搖るぎないエンジニア魂です。



1.2.210mのラインを有するつくば工場 3.4.実大サイズの強度試験機や最大風速30m/秒を再現する暴風雨水密試験機も自社開発

03 Because we are the FRONTIER, ... PRODUCTION AND LOGISTICS

フロンティアだから、
安定品質を届ける
生産・物流体制。



工業化により安定品質を届ける、
全国の生産拠点。

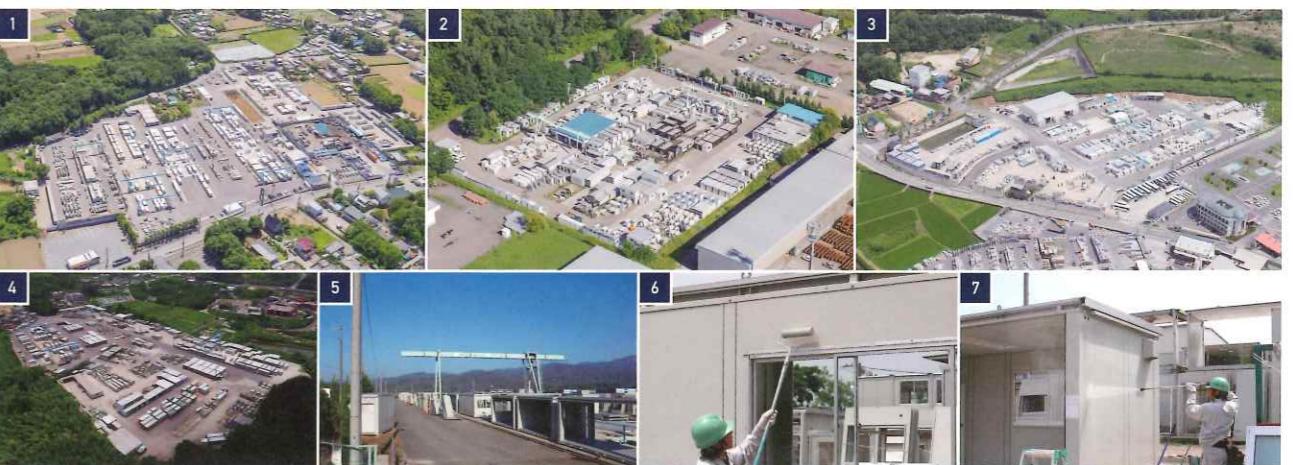
モバイルスペースは、その構成要素の約8割を工場で生産する工業化建築物。
規格化したオリジナルの生産工程で常に均一な品質の製品を安定的に送り出すことができます。
その安定品質を支えるのが全国7ヶ所に設置されている生産拠点。全長200mを超えるラインを有する新潟工場や、
国内最大規模の生産ラインと最新設備を備えたつくば工場を中心に、盤石な生産体制を展開しています。



1.つくば工場 2.新潟工場 3.茨城工場 4.仙台工場 5.姫路工場 6.久留米工場 7.広州工場(中華人民共和国) ※国内にその他流山工場(千葉県)があります

新品同様の品質を維持する物流拠点。
全国27ヶ所のサービスセンター。

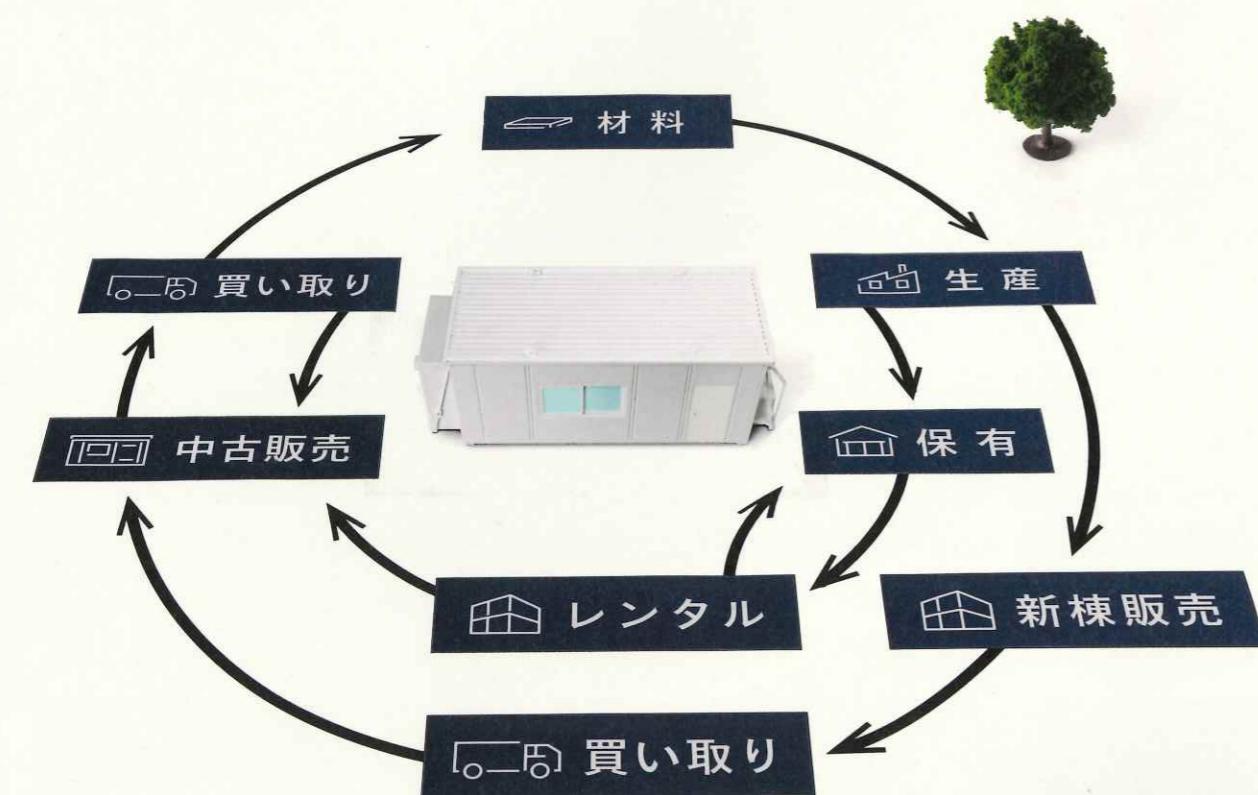
毎年、レンタル向けに生産されるモバイルスペースは、約2万5千棟。
8万棟を保有し、全国27ヶ所のサービスセンターで管理されています。
使用後のモバイルスペースも、メンテナンスを施され新品同様の品質を維持し続けています。
何度もくり返し活用しても、常に快適な製品を安定供給できるように努めています。



1.茨城サービスセンター 2.石狩サービスセンター 3.京都サービスセンター 4.小牧サービスセンター 5.広島サービスセンター 6.7.整備風景

04 Because we are the FRONTIER, ... BUSINESS MODEL

フロンティアだから、 資源循環型の収益モデル。

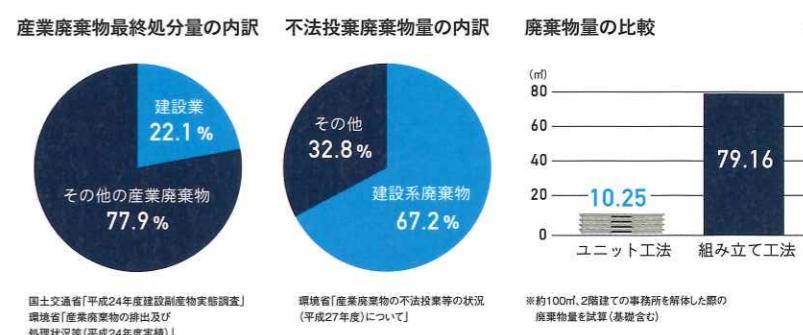


材料にはじまり、材料に戻す。
資源循環型社会への挑戦。

スクラップ&ビルトが常識とされる中、私たちが掲げるは「循環型ビジネスモデル」。
1つのプロダクトをレンタル・販売・買い取りの間でめぐらせる。
廃棄物量は、従来工法と比較して約1/8に削減。建てる回数を重ねたぶんだけ
廃棄物の差は大きくなっています。壊すことなく何度もリユースし、
マーケットを循環していくこの仕組みが、強固な収益基盤を築きます。
ゴミにならない。無駄が減る。地球への負担を減らしながら、私たちの収益につながっていく。
社会貢献を謳う企業として、理想の在りかたを追求し続けています。

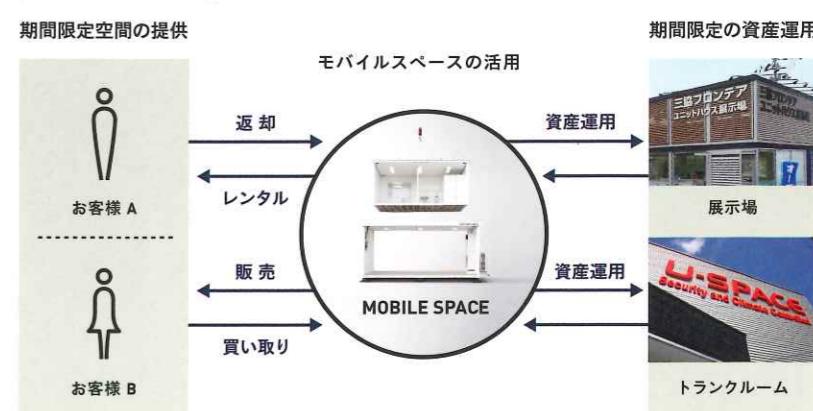
使えば使うほど、普及すればするほど地球環境に貢献できる。

年間約3億8千万トンが排出される産業廃棄物。その最終処分にも1,310万トンが廃棄物として排出されます。その中の約20%は建設業が占めています。社会問題にもなっている不法投棄では実に約67%が建設系廃棄物。モバイルスペースは、従来工法の約1/8の廃棄物量に抑えることが可能。普及すればするほど、地球環境へ貢献することができます。



ビジネスをリスクから解放する、レンタル・販売・買い取りの環。

リユース可能な動く不動産であるモバイルスペース。その用途は、期間限定のイベント施設や、建て替え期間中の仮店舗や仮事務所など。必要な時間、場所、大きさ、さまざまに応じることができます。設置や撤去も自由なので、投資を最小限に抑え、出店にともなうリスクも回避できます。空間を、もっと自由に、もっと手軽に。くり返し使えるモバイルスペースの活用シーンが増えることで、新規ビジネスの自由度を高めます。



05 Because we are the FRONTIER, ... NETWORK

フロンティアだから、
どこまでも
拠点開拓する。
全国直営600ヶ所。

- =本社
 - =営業拠点（全国196拠点）
 - =トランクルーム（全国391店舗）
 - =工場（7拠点）
 - ▲ =サービスセンター（27拠点）
- (2019年4月30日現在)

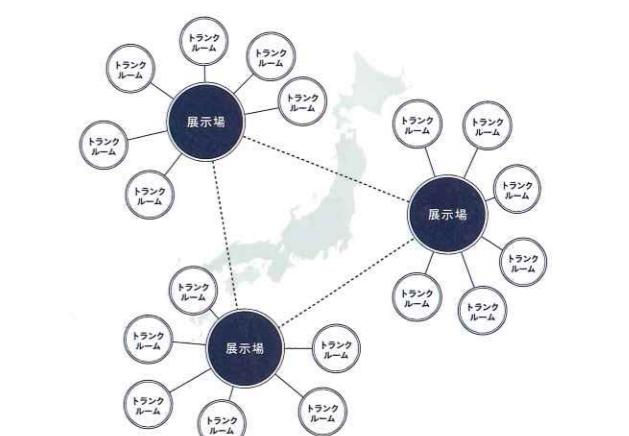


国内47都道府県を余さずサポート。
全国ネットワーク。

190ヶ所以上の営業拠点。390ヶ所以上のトランクルーム「U-SPACE」を全国直営体制で展開。
工場で生産される工業化建築を、実際に見て触って確かめることができるモバイルスペース展示場と
地域密着型の収納スペースレンタルビジネスをロードサイドに設置。
顧客の異なるそれぞれのビジネスでも、製品供給、サービス体制、ヒューマンリソース
とともに事業シナジー効果を活かしたネットワークを構築しています。

事業シナジー効果を最大化させる
ドミナント戦略。

展示場を起点とし、その周辺エリアにトランクルームを配置。
事業相互のシナジー効果を活かす管理体制で、店舗網を拡大。
さらにきめ細かいネットワークを日本中に展開し、お客様
からの要望を迅速にお応えしていくことを実現します。



必要な
必要な
必要な
とき、
だけ、
空間を。

